

川・公園も変わる!

「かわまちづくり」とは「かわ空間とまち空間が融合した、良好な空間形成を目指す取組」のことで、「かわ」の魅力を活かし、「まち」と一体となったソフト施策やハード施策を実現することで、水辺空間の質を向上させ、地域の活性化や地域ブランドの向上などの実現を目指します。堤防部分（堤内地側）には飲食店や、景観に配慮したトイレ等を設置予定です。



(資料提供: 加古川市)



権現総合公園

キャンプ・グランピングエリアやレストランを備えたみとろフルーツパーク（令和6年4月グランドオープン予定）の他、家族が楽しめる権現総合公園（ハイウェイオアシス）、日岡山公園など再整備が計画されています。



みとろフルーツパーク

みとろフルーツパーク
(資料提供: 加古川市)

権現総合公園 (資料提供: 加古川市)

ご紹介した他にも、播磨臨海地域道路・JR東加古川駅付近の高架化、志方中央地区の新たな産業用地の検討など中長期的な構想もあります。当所としましても、今後の動向を注視していくとともに、国・県・市等と連携していく中で、商工業者の皆様からの声や意見をあらゆる機会に行政等へと伝えてまいります。

道が変わる!

国道2号線

国道2号4車線化 事業区間

(資料提供: 兵庫県加古川土木事務所)

●加古川橋工区 L=670m
老朽化対策と渋滞解消のため先行整備



国道2号加古川橋が現在工事中。5基の橋脚は完成しているが、両端の橋台や橋桁、交差点改良工事など完成にはまだ年月がかかります。駅周辺部国道2号線の4車線化・対面通行化については、他に寺家町工区、平野工区が事業着手されており、用地買収等が進められています。

建設が進む東播磨道の北工区（八幡町宗佐付近）。本年3月21日には北工区のうち八幡三木ランプ（八幡町宗佐）までの2.5kmが開通し、残るは「(仮称)国道175号ランプ」(小野市池尻町)までの4.4kmで令和7年(2025年)完成予定。3月21日に開催された八幡稲美⇄八幡三木開通ウォークでは、約1000名の参加者がウォーキングを楽しみました。



東播磨道北工区

(資料提供: 兵庫県加古川土木事務所)

神吉中津線、中津水足線



新橋完成予想図

(資料提供: 加古川市)

神吉中津線外3線道路改良事業の新橋は、加古川市が事業主体となって一級河川加古川に架ける初の橋となります。令和6年3月末供用予定の道路「中津水足線」との一体的な整備により中心市街地へ流入する通過交通の抑制が期待でき、加古川渡河部の慢性的な渋滞の解消にもつながります。